



参政党新宿まなびとまもりの会では、新宿区政に関する情報や区議会報告の他、区民のみなさまのお役に立てる情報の発信をしていきます。

太陽光発電は本当に環境にやさしいの！？

こんにちは。新宿区議会議員の青木ひとみです。
東京都では2022年12月に新築住宅への太陽光パネルの設置を義務づける条例が可決されました。今後新宿区内でも太陽光パネルを設置した住宅やビルが増えていくことが予想されますので、令和5年第4回定例会で太陽光パネルの環境負荷と安全性について質問させていただきました。質問と答弁の内容は裏面に掲載していますのでご確認ください。

私は以下4つの理由から、太陽光発電など再生可能エネルギーの過度な推進に反対しています。

環境負荷や安全性に関する問題

太陽光パネルの生産には大量のCO2を排出するため、矛盾と欺瞞を感じます。また、太陽光パネルには鉛、セレン、カドミウムなどの有害物質が含まれ、適切に管理しないと土壌や水質の汚染などにつながります。

今回の能登半島地震を受けて経済産業省も注意喚起をしていますが、水害などでパネルが浸水した際、感電の危険があり二次被害を起こす恐れがあります。

国民の負担を強いるFIT制度の問題

固定価格買取制度（FIT制度）とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定期間、国が決めた価格で買うことを約束する制度です。その買い取り費用は月々の電気代に上乗せされる「再生可能エネルギー発電促進賦課金（再エネ賦課金）」として私たち国民が負担しています。

電力の安定性に関する問題

電力の品質は電圧と周波数で決まります。質の高い電気を提供するためには、需要量と供給量のバランスを管理し電圧と周波数を一定に保つ必要があります。再生可能エネルギーは自然の力に頼るため供給が不安定になり、その分を他の発電方法で補わなければなりません。つまり、どれだけ自然エネルギーを増やしても必ずバックアップの発電方法が必要となり、必然的に二重投資となります。

ウイグル人の強制労働の問題

世界の太陽光パネルの8割が中国で生産されていて、そのうちの半分以上がウイグルで製造されているとされています。ウイグル地区では中国共産党による人権侵害が行われているとの報告があり、国際的な非難が高まっています。そのような状況下で太陽光パネルの設置を推進することは、ウイグルでの強制労働など人権侵害に加担することになってしまいます。

令和5年第4回定例会で一般質問をおこないました

令和5年第4回定例会が12月8日に終了しました。

参政党新宿まなびとまもりの会では、太陽光パネルについて一般質問をしました。今後起こりうる様々な問題に対処できるように、区としてしっかり取り組んでいただきたいと思います。引き続き皆さまの声を議会に届けてまいります。

質問1

太陽光パネルの環境負荷と安全対策について

過度な太陽光発電推進による環境負荷があることを指摘しました。製造時の大量のCO2排出や森林伐採という矛盾、含有する有害物質によるリスクや災害時の感電リスクにも触れ、適切な管理とリスク周知について質問しました。

- 1 太陽光パネルはかえって環境負荷を高めているという指摘についてはどのように考えているか。
- 2 災害時における二次被害や有害物質による土壌や水質汚染に対して何らかの対策は検討しているか。

区長答弁

太陽光パネル製造時のCO2排出と有害物質、森林伐採等に問題があることは認識している。しかし、区ではカーボンニュートラル達成のため再生エネルギーを推進している。災害時には感電や有害物質漏出などの危険があることは認識している。接触を避けるよう周知することや、補助金交付時にリスク説明をすることなどを通して、適切な管理を周知していく。災害廃棄時は専門業者による適正な処理を区が計画し、緊急時は関係機関と連携して対応していく予定である。

最新情報は
公式ウェブサイト



青木仁美
X(旧Twitter)



質問2

太陽光パネルの廃棄とリサイクルについて

太陽光パネルの大量廃棄が2030年頃から始まると予想されます。有害物質を含むため適切な廃棄が必要ですが、費用の負担者については未定です。感電や環境汚染リスクを考慮し、安全な廃棄・リサイクル対策が急務であることについて質問しました。

- 1 安全に適切に処理を進められるよう、持ち主と廃棄事業者に対し、費用の補助など対策の考えがあるか。
- 2 太陽光パネルを設置したまま空き家になった場合に発生する危険性の対策についての見解は。

区長答弁

東京都が建物解体事業者へのリサイクル費用補助を実施するため、現時点で区は直接補助の予定はない。設置補助金申請者に情報周知し、区ホームページで紹介を行う。空き家となった放置パネルに対し、防災・防犯上の緊急時は立ち入り禁止区域設定等の保全措置と所有者への適正管理助言・指導を行う方針である。

太陽光パネルの管理や廃棄については、今後大きな問題になってくることが予想されます。新宿区だけの問題ではありませんので、東京都や23区とも問題意識を共有し、連携して取り組んでいただくことを引き続き要望してまいります。

青木仁美（あおきひとみ）

新宿区議会議員 令和5年4月初当選
参政党新宿まなびとまもりの会代表
関西学院大学文学部哲学科卒業
新宿区山吹町在住



発行元：参政党新宿まなびとまもりの会

162-0801 東京都新宿区山吹町366-1-1304

電話：050-3690-1501

メール：info@aokihitomi.com